



CONTENTS

P2 ▶ 新年度を迎えて

P5 ▶ 新入生を迎えて学級担任から

P6 ▶ 新入生を迎えて専攻主任から

P7 ▶ 福井高専に入学して

P8 ▶ 学校通信

P10 ▶ 令和8年度行事予定表

新年度を迎えて

ご入学を祝して



校長 上田悦子

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。本年度、新1年生206名の他、マレーシアから1名、タイから1名、モンゴルから1名の留学生、並びに専攻科生29名あわせて238名の学生が、県境を越え国境を越え本校に入学されました。心より歓迎いたします。

福井高専のアドミッション・ポリシーでは、未来社会をデザインするためのものづくりや環境づくりの学習に興味があり、新しい目標に向かってチャレンジし、社会に貢献したい人、技術者としてグローバルな視野を持って情報社会で活躍したい人、仲間と積極的にコミュニケーションをとり共同して課題にとり組もうとしている人、周囲の人たちを尊重し、社会規範を守る人を求めています。皆さんはまさに、この方針に合致した期待あふれる人財です。

皆さんは技術者・研究者をめざして入学されたことと思います。高専の専門的な学びは奥深く、時に困難に直面することもあるでしょう。その際に大切なのが、諦めず努力を続ける GRIT（グリット）の力です。GRIT は、「Guts：困難に立ち向かう力」「Resilience：失敗しても続ける力」「Initiative：自ら行動する力」「Tenacity：やり抜く力」、の頭文字からなる言葉です。才能よりも GRIT が成功に強く結びつくという研究もあります。ぜひこれから始まる日々の学びの中で、GRIT を育ててください。

また近年、「タイパ（タイムパフォーマンス）」という言葉も流行しています。皆さんも、動画を倍速で見たり、音楽をサビの部分だけ聴いたりすることもあるかもしれませんね。効率だけを求め、無駄なことはなるべく避ける、そんな生き方が推奨されているようにすら思います。しかし、幸い

にも高専での学生生活は、大学受験に邪魔されることなく、夢や目標に向けて、じっくりと時間をかけることができる期間でもあります。失敗したとき、「自分には能力がないから無理だ」「頑張っても無駄だから諦めよう」という考えではなく、その失敗こそ経験値を上げるものとして前向きに捉え、それを活かして新たな挑戦に向かってもらいたいと思います。安易にタイパを求めるのではなく、時間をかけて深く学んで知識や技術を手に入れること、そして多様な価値観を持つ仲間たちと共に過ごし、意見をぶつけ合い、共に課題を乗り越える経験、これらは生涯にわたって皆さんのかけがえのない財産となるはずで、福井高専で GRIT を培い、たくさんの財産を作ってもらいたいと思います。

また、本校で皆さんが学び体験することができる機会は、授業や実験・実習のほかにもたくさんあります。部活動や様々な学校行事、国際交流活動、寮生活、各種コンテストへの参加など自己研鑽の機会は数多く用意されています。学業第一であることは言うまでもありませんが、さまざまな活動を通じて本校の基本理念とする「優れた実践力と豊かな人間性、創造性を備え、社会の多様な発展に寄与できる技術者」を育成するため、教職員一同サポートさせていただきます。

皆さんの夢を実現するために、これから始まる高専生活が充実したものとなりますように心より願っています。

新年度を迎えて



教務主事

芳賀 正和

みなさんの活躍を期待しています

福井高専に入学された新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。

福井高専は、本年の新入生から体制が大きく生まれ変わり、これまで5つの学科で構成されていたものが、「未来社会デザイン工学科」という1つの学科にまとまります。この学科の中に「機械系」、「電気電子系」、「情報系」、「材料・生物系」、「都市・建築系」の5つの系を有する構成に変わります。社会を変革し、未来をデザインする能力を備えた人材を育成することを目指しています。

ところで、今、社会で求められているのは、コミュニケーション力を備えた人材です。1つの学科にまとまることによって、自分とは違う多様な考え方や価値観を持った個性豊かな人々と協働して、一つのプロジェクトに取り組む機会が増えます。様々な角度の視点からアイデアを出し合い、お互いの意見を尊重しながら議論を尽くし、課題に対する理解を深めて、解決策を編み出していく経験をたくさん積んでいただきたいと思います。

みなさんが卒業して社会に出た時に、周りの人々と協力して、人々を助けるプロジェクトを推進して活躍されることを期待しています。



学生主事

田安 正茂

学生だからこそ経験できること

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。在校生のみなさん、新年度を迎えて新たな気持ちで頑張りましょう。

さて、みなさんは「ガクチカ」という言葉を知っていますか。就職や進学をする際に、面接やエントリーシートで「学生時代に一番力を入れて頑張ってきたことは何ですか」との質問を受けます。その略語が「ガクチカ」です。学生時代にしか経験できないものとは何でしょうか。アルバイトでお金を稼いで趣味にお金をつぎ込むことが悪いわけではありませんが、卒業後に40年以上も社会人として働かなければならないのに、貴重な学生としての時間をアルバイトに費やすのはとても「もったいない」ことだと思います。学生だからこそ経験できることにチャレンジしましょう。お金では買えない経験を、学生時代に力を入れて頑張ったことを、就職や進学するとき自信を持ってアピールできることを、高専の在学期間中に取り組んでほしいと考えています。

高専というコミュニティに所属していることを自覚し、仲間を思いやり、自律して行動できる人間として、ともに成長していきましょう。



寮務主事

井之上 和代

新年度を迎えて — 青武寮の詩碑から —

ご入学・ご進級おめでとうございます。今年度、学生寮「青武寮」を担当します。青武寮は、東寮・南寮・国際寮の3棟（定員は244名、全校学生の約4分の1）、食堂や事務室などを備えた中央棟を核として、学校敷地の北東部に位置しています。本科1年生から専攻科生が住み、通学生にとっては一切立ち入り禁止（禁止ですよ）のミステリーゾーンです。

ここで、学生寮食堂にある初代校長・内藤敏夫先生の詩を紹介いたします。

「盟友共寝食五歳 青武学輩業将成 欲永積寮風後進 謂乃是和信敬愛」

寮生に向けて贈られた詩ですが、本校学生全体にも通じています。卒業に際して寮風「和（仲良く）・信（信頼し）・敬（互いに尊敬し）・愛（慈しむ）」を後輩に伝えたいという詩です。この詩は、人生の中で心身共に成長する5年間、多様な人々が集まる本校での生活で、仲間たちと過ごす指針になっていると思います。新しい生活が始まり、期待に胸を膨らませていると思いますが、慣れない環境や新しい事などに戸惑い、挫けることもあるかもしれません。そんな時は、この詩を思い出してください。教職員一同、みなさんを見守り応援していきます。

（国語科 大谷貞徳先生ご監修）

新年度を迎えて



専攻科長
亀山 建太郎

共に学ぶ君たちへ

進級、そして専攻科への進学、おめでとうございます。皆さんが専攻科で学ぶにあたり、私が持つ専攻科のイメージを共有させて貰えればと思います。

それは、専攻科での学びは、単なる学問の追求や、既存のものづくりに留まらないというものです。学問と技術を融合させた価値の創造が、専攻科で学ぶべきことだと、私は考えています。

ですので、活動にあたっては、起業家精神を持って欲しいと思っています。まだ課題とすら認識されていない未知の課題を見つけ、その価値を社会に問う力は、今の日本で最も必要とされている資質だと思います。

しかし、このような活動は、なかなか一人ではできるものではありません。ですので、仲間を作って下さい。また、その取り組みにおいて、AI や 3D プリンタなどの新しい道具を積極的に取り入れ、自らの武器とすることを心掛けて下さい。先端技術を取り入れて使いこなす力は、どのような分野に進んでも、皆さんの助けとなります。自らをアップデートし続ける姿勢を忘れないで下さい。

一年後の春、皆さんが自らの手で生み出した価値とともに、大きな成長を実感できていることを心から願っています。



図書館長
東 章弘

洗練された言葉

科学系の論文は既知の研究の積み重ねの上にデータや情報を基礎として、明解でシンプルな表現で記述されるものと教わりました。しかし、私の尊敬する研究者（故人）の論文は、科学性を微塵も損なうことなく、その記述は鮮やかな言葉で彩られ、真理に迫ろうとする分析の奥深さを一層輝かせていました。言葉の放つ魅力が、科学的知見の次元を昇華させるようにさえ思えたものです。

「ペンは剣より強し」とはイギリスの戯曲に由来し、後に反戦・平和運動での象徴としても引用されました。一方で、匿名性の高い SNS では、無配慮な誹謗や中傷、悪意ある言葉での攻撃が人を深く傷つけてしまうことさえある昨今、言葉が凶器となり得る現実もあります。そのような時代にあって、本（書籍）は著者と編集者との間で多くの行程を経て紡ぎ上げた知の結晶であり、知識や情報のみならず、洗練された言葉を読者に届ける大切な文化資源のひとつです。

福井高専の図書館には豊富な技術・専門書と魅力ある文学作品が数多く所蔵されており、学生のみなさんはもちろん、地域の方々にもご利用いただけます。本校ならびに地域の皆さまの生活を豊かに彩る言葉が届く図書館となるよう尽力してまいります。



学生相談室長
丸山 晃生

新たな一歩へ

新入生の皆さん、ご入学を心よりお祝い申し上げます。在校生の皆さんも、新年度を迎え、気持ちを新たにこの一年を歩み出しましょう。高専での学びは、専門科目や実験・実習が早くから本格化し、期待と緊張が入り混じる日々となることでしょう。一方で、近年は多くの学生が気づかぬうちに疲れや不安を抱えやすく、心のケアの重要性が一層高まっています。

高専には、興味や得意分野、生活スタイルの異なる多様な学生が集まっています。部活動に励む学生、趣味に打ち込む学生、寮で生活する学生、遠方から通学する学生など、その背景はさまざまです。そうした違いに戸惑うこともあるかもしれませんが、多様性こそが皆さんの高専生活を豊かにする大切な要素です。うまくいかない日や、自分だけが遅れているように思える日があっても、心配はいりません。

学生相談室は、皆さんが安心して学びに向き合えるよう支える場所です。学業の悩み、実習での不安、友人関係の戸惑い、将来への迷いなど、どのような内容でも構いません。気持ちが重くなる前に、誰かに話すことはとても大切です。今年度が、皆さんにとって健やかで実りある一年となることを心から願っています。

新入生を迎えて学級担任から

F1 学級担任
古谷 峻熙

学級担任から新入生の皆さんへ

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これからの高専生活が楽しみである一方、不安もあると思います。そこで高専生活をより充実したものになるよう、大切にしてほしいことを少しお話しします。

まずは「メリハリ」についてです。高専は一般の高校と比べて、自由な点が多いこと、レベルの高い授業や多彩な部活があることなどから、自分の目標に向かって挑戦できる環境が整っています。ただ、それらを活かすことができるかどうかは自分次第です。何事にも「メリハリ」をつけ、勉強も趣味も全力で取り組んでほしいと思います。

そしてもう一つ、「思いやり」についてです。これから、困ったり悩んだりすることもあると思います。その時には周りの人を頼ってください。また、時には助けられた分だけ「思いやり」のある行動をしてほしいと思います。「情けは人の為ならず」という言葉があるようにきっと巡り巡って自分にも良い報いが返ってくるはずです。

「メリハリ」や「思いやり」を大切に、自ら考え、自分の夢や目標に向かって挑戦し続ける姿勢を忘れずにいてください。この高専で過ごす日々が、皆さんにとってかけがえのない時間になることを願っています。

F2 学級担任
土田 怜

未来への第一歩

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。みなさんの輝かしい未来への、新たな一歩が始まります。希望や期待はもちろんですが、不安も抱えていることと思います。そんなみなさんに、心がけてほしいことが2つあります。

まず1つ目は、「人とのつながりを大切にすること」です。これから先、さまざまな困難にぶつかることでしょう。そんなときには、1人で抱え込まずに周囲を頼ってみてください。きっと助けになってくれます。また、誰かに頼られた時には、その人の気持ちを大切に、一緒に考えてあげてください。人間は、お互いに支え合い、助け合って成長していくものです。人とのつながりを大切に、生涯にわたる友人に出会いましょう。

そして2つ目は、「未来を見据えて行動すること」です。ここからは義務教育ではありません。みなさんは、自らの意志で選択し、高専への進学を決定されたことと思います。その意味では、ここがみなさん自身の「未来への第一歩」と言えるでしょう。そしてこの先の一步一步の積み重ねが、みなさん自身の将来を形成していきます。目先のことだけにとらわれず、より未来を見据えた行動・言動を心がけましょう。1年が終わったとき、さらには卒業したとき、どれだけのものが築き上げられているか、これはとても重要なことです。勉強や課外活動など、いろいろとありますが、振り返ってみたときに「良い1年だった」「素晴らしい高専生活だった」と言えるように、自分自身の未来の土台を着実に作っていきましょう。

F3 学級担任
松井 一洋

あなたは どうしたい？

新入生のみなさん、入学おめでとうございます。

新しい生活にどんな期待をしていますか？思い通りにはいかなかったとき、「つまらない」「楽しくない」その原因を考えると、まずは自分がどれだけ関わられるか、関わられたかを考えてみましょう。もちろん関わるものの大きさ、変えたいものの大きさや複雑さによって難しさは変わります。関わられる範囲も人それぞれです。今、変えられることができなくても、4年生や5年生になったときに今とは違う関わり方で変えられるかもしれません。福井高専全体のように大きなものを変えることはかなり難しいです。でも、クラスや仲のいい友人たちのように小さな範囲なら何か変えられそうに思いませんか？

ぜひ、主体的に集団に関わってください。ひとりで難しくても誰かとなら変えられることもあるでしょう。担任はじめいろいろな先生たちも手伝います。「面白きことは良きことなり」今しかできない高専生活を存分に楽しみましょう。

新入生を迎えて学級担任から



F4 学級担任

出口 颯涼

まずお話ししたいこと

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆様のご入学を心から歓迎いたします。皆さんの学生生活が良いものになるよう、全力でサポートいたします。

高専での学びは、これまでとは大きく異なります。1コマの授業時間は90分になります。当たり前ですが、中学校の時よりも授業の内容は難しくなります。また、授業での休みが一定の数を超えると、自動的に単位を落としてしまいます。そして、ほぼ毎日、課題が出ます。新しい環境での学校生活に慣れるまで、時間がかかると思います。

そこで意識することをおすすめしたいのが、この文章のタイトルにもある「まず」です。「まず」新しい学校生活に慣れるよう心がけてみましょう。新生活に慣れれば、「次に」ルール内で楽しい学校生活を送るにはどうすればよいかを考えられるようになります。難しそうな課題が出て、後回しにせず「まず」取り組んでみましょう。課題が難しかったら、「次に」とるべきこととして、友達に聞いたり、先生に質問したりしようと行動することができます。

「まず」のアクションを起こさないと、「次に」は進めません。新しい学校生活、「まず」は慣れることを意識して、スタートダッシュを決めてください。それが、私がみなさんに「まず」お話ししたいことです。一緒に頑張りましょう。



F5 学級担任

長水 壽寛

「目標と目的」について

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。みなさんは中学を卒業され、高校ではなく、高等教育機関である「高専」に入学されました。これからの5年間、この福井高専でしっかりと学んでほしいと思います。

ところで、表題の「目標と目的」は、数年前に新聞のコラムで同様のタイトルの投稿がありました。みなさんにとっての「目標と目的」は何でしょうか。「高専入学」が目的であれば、もう、目的は達成されています。そのコラムは、目標を目的化しないように注意を促す内容だったと記憶しています。

みなさんにとっての「(高専で学ぶ)目的」は何でしょうか？急に言われてもすぐに答えられないかもしれません。進級や卒業と答える人がいるかもしれません。本当の目的はたぶんもう少し先にある、進級や卒業は、その目的を達成するための目標ではないでしょうか。「私の(高専で学ぶ)目的はこれだ！」と答えられる人もいます。そういう人は、その目的達成のために、この福井高専で大いに努力してください。まだ答えられない人は、福井高専で学びながら「自分の(学ぶ)目的」を探してみてください。

授業、課題、試験、課外活動、人間関係など、いろいろな経験を通して、小さな目標を達成し、積み重ね、そして自分自身の目的を見つけ、達成できるように、福井高専で楽しく学んでください。応援しています。

新入生を迎えて専攻主任から

生産システム工学
専攻主任

丸山 晃生

未来を創る皆さんへ

専攻科への進学および進級、おめでとうございます。機械系、電気電子系、電子情報系の異なる専門分野から集まった皆さんが、ここで同じ専攻の仲間として共に学びを深めていくことを、心から嬉しく思います。

近年、生成AIの急速な進展や半導体産業の再編、国内ロボティクス分野への投資拡大など、工学を取り巻く環境は大きな変革期を迎えています。将来的には、国内企業による小型ロケット開発や、スマートモビリティの実現への期待も高まり、皆さんが関わる領域の社会的期待がこれまで以上に高まっています。

専攻科での学びは、専門知識の深化に加え、分野横断的に知識を結びつけ、新たな価値を創出する力を育む場でもあります。機械の高度化には精密な電子制御が不可欠であり、電気電子技術は情報処理と融合することで革新的なデバイスを生み出します。異なる視点を持つ仲間との協働こそが、未来の技術を形づくる原動力となるでしょう。

専攻科では、自らの専門を軸にしながら、他分野の仲間と積極的に交流し、新しい挑戦を恐れず前進してください。皆さんの探究心と行動が、専攻科での学びをより豊かなものにしていくことを期待しています。

新入生を迎えて専攻主任から

環境システム工学
専攻主任

辻野 和彦

充実した2年間を！

専攻科入学生のみなさん、ご入学おめでとうございます。今は、頑張っ行ってこうという決意に満ち溢れていることでしょう。ぜひ、その気持ちを持ち続けて下さい。

専攻科に進学しようと考えたのは、おそらく「慣れ親しんだ環境で勉学や研究を継続したい」という思いがあったからだと思います。また、「学士の学位を取得したい」や「資格の取得にチャレンジしたい」と考えている学生さんもいるかもしれません。ぜひ、掲げた目標を達成できるよう充実した2年間を過ごしましょう。

専攻科では、他系出身の 학생さんとグループワークを行う機会が多いです。他系の 학생さんがどのような視点で事象を見ているかを知ることができます。また、グループ内でのコミュニケーションを通して自分の考えを判り易く説明する力も求められます。議論をしていると、お互いの強みや弱みも見えてくるかもしれません。リーダーシップやチーム内での役割分担を通して、ぜひ、問題解決力や思考力、手を差し伸べる人間力も養って下さい。

専攻科での学修は2年間…短期決戦ですが、さらに成長し、様々な力を身につけて自分の進路を勝ち取りましょう！

福井高専に入学して

■ 挑戦と継続の重要性

機械工学科2年 野田 昂希

この一年を振り返ると、私の学校生活は「挑戦」と「継続」という二つの言葉で表せる。日々の授業に真剣に向き合い、予習復習を習慣化することで、知識を身につけるだけでなく、内容を深く理解することを意識して学習に取り組んできた。分からない部分をそのままにせず、自分なりに考え、調べ、学び直す姿勢を継続したことで、学ぶ力が着実に身についていった。結果が見えるまでに試行錯誤を重ねる時期もあったが、努力を続ける中で知識が定着し、学習に対する自信も高まった。また、自分の探究心をさらに高めるため、学んだことを実践の場で活かせるコンテストにも挑戦した。テーマについて深く考え、試行錯誤を重ねながら内容をまとめ、発表する過程は決して容易ではなかったが、主体的に学び続ける姿勢の大切さを実感する貴重な経験となった。この一年を通して、成長とは日々の継続と、新たなことに挑戦する勇気によって生まれるものだ強く感じた。今後もこの姿勢を大切に、さらなる成長を目指して努力を続けていきたい。

■ 福井高専に入学して

環境都市工学科2年 田中 誠悟

私は福井工業高等専門学校に入学し、F3クラスの一年生として学校生活を送っています。入学して感じたことは、福井高専では早い段階から専門的な学びが始まるという点です。一年生から専門科目があり、数学や物理などの基礎科目も、将来の専門分野につながる重要な内容として学んでいます。また、実験や実習、製図などの授業では、実際に手を動かしながら学ぶことで理解が深まり、高専ならではの学習の進め方を実感しています。これらの学習を通して、知識を身につけるだけでなく、自分で考え、課題に向き合う姿勢の大切さを学んでいます。

学校行事にも積極的に参加し、特に高専祭では、多くの展示や企画を通して高専の雰囲気を楽しむことができました。普段の授業とは異なる一面を見ることができ、仲間との会話も増え、学校生活がより身近に感じられるようになりました。また、行事を通して気分転換ができ、学習への意欲を新たにできる良い機会にもなりました。今後も福井高専での学びと行事の両方を大切に、将来社会に役立つ技術者を目指して努力していきたいです。

学校通信

青武寮通信 2026

学寮では、大雪による延期もありましたが年度末恒例の「5年生を送る会」を開催いたしました。卒業を控えた5年生からは、寮生活でのかけがえのない思い出が語られました。また、令和8年度の寮生会役員選挙も行われ、次代を担う頼もしい新役員が決定しております。



コロナ禍の影響で、ここ数年は卒業生の退寮に伴う最小限の入れ替えに留めてまいりました。しかし、東寮の改修が完了したことや、南寮との居住環境の公平性を考慮し、久々に「全居室移動」を実施いたしました。心機一転、新たな環境で新学期を迎えます。



新年度は県外からの入学者が増え、入寮希望者が大幅に増加しております。男女共に部屋数が不足しているため、男子国際寮の区画見直しや、やむを得ず居住地域等による入寮制限を例年より厳しく設定いたしました。

令和7年度 第3回学生表彰受賞者一覧

校長特別賞

5年間通して学業成績優秀者

電子情報工学科5年 片岡 志菜	電子情報工学科5年 東 菜々花	電子情報工学科5年 水野 弘汰	電子情報工学科5年 宮本 結生
物質工学科5年 有馬 魁兜	物質工学科5年 音 羽矢可	物質工学科5年 紘谷 聡子	物質工学科5年 丹羽 大和
物質工学科5年 細井 遥和	環境都市工学科5年 三田村 美菜		

第25回 APIEMS 国際会議 (Asia Pacific Industrial Engineering and Management Society : アジア太平洋産業工学・経営学会) 論文採択

生産システム工学専攻2年 遠藤 駿介

Royal Society of Chemistry 掲載

環境システム工学専攻2年 丸山 和香

公益財団法人土木学会 2025年度土木教育賞

環境都市工学科5年 松田 岳

校長賞

4年間(4回)学業成績優秀者

機械工学科5年 石川 翔月	電気電子工学科5年 木谷 駿允	電子情報工学科5年 岡本 篤舎
物質工学科5年 浅尾 空澄	物質工学科5年 藤田 耕輔	物質工学科5年 法邑 未来

材料技術研究協会討論会 2025 ゴールドポスター賞

環境システム工学専攻2年 松井 実玖

奨励賞

1年間学業成績優秀者

電気電子工学科5年 齊藤 翼	電子情報工学科5年 笈 椋祐	物質工学科5年 穂吉 美颯	物質工学科5年 伊部 心鞠
物質工学科5年 加藤 咲姫	物質工学科5年 坂本 梨紗	物質工学科5年 平田 りん太郎	物質工学科5年 松浦 奏登
物質工学科5年 吉田 聡太			

部・同好会の紹介

部活動として体育部が18、文化部が8、同好会が13あり、幅広い分野で活発な活動が行なわれています。

体育部 男子バスケットボール部



男子バスケットボール部は初心者、経験者問わず1～5年生まで約20人の部員が高校、高専チームそれぞれの大会に向け、目標を持ち練習に取り組んでいます。高専チームは北陸地区優勝、全国高専大会出場が目標です。

体育部 ハンドボール部



ハンドボール部は高専大会を目標に活動しています。全員で協力して練習をしています。

体育部 少林寺拳法部



少林寺拳法は、護身の技術と心を学ぶことができます。未経験者ばかりなので、新しい挑戦を始められる部活です。また、武道は一生続けられるという点も魅力です。大会もあり、インターハイも目指しますよ！入部待ってます！

文化部 放送・メディア研究会



私たち放送・メディア研究会は、高専ライブというラジオ番組を制作しています。私たちで実際に収録・編集し、たんなんFM79.1MHzで毎週放送しています。また、シニア向けスマホ教室や学内外イベントの撮影・司会なども行っています。

同好会 サイエンスクラブ



サイエンスクラブでは週1回火曜日に各々が好きな実験などをしています。別にやりたいことがなくても他人のしていることを手伝うだけでもいいです。ゆるく交流をしたい人なども歓迎です。

同好会 ダンス同好会



私たちダンス同好会は、毎週木曜日にゆるく楽しく活動しています。学年関係なく仲が良く、先輩後輩の距離が近いのが自慢です。毎年、高専祭ではフリースタイルの枠でステージに出演させていただいています。メンバーそれぞれが好きな曲やアーティストのダンスを覚え、自分らしいパフォーマンスを披露しています。ジャンルも雰囲気もさまざま、見ている人も踊っている私たちと一緒に楽しめるステージになっています。ダンス経験者はもちろん、未経験者も大歓迎です。少しでも興味があったらぜひ体験・見学に来てください！

学生会役員の紹介



学生会長

環境都市工学科 4年

土田 ヒカル

私は、福井高専の学生会長として、学生のみならずと協力して、より良い学校を目指していこうと思います。学生会長として、任された役割から逃げず、周りの助けを借りながら、誠実に向き合っていきます。

議長

物質工学科 5年

角谷 悠康

副議長

環境都市工学科 4年

坪川 竜也

監査

機械工学科 4年

城下 太秀

物質工学科 4年

坂川 葉音

環境都市工学科 4年

高島 奏太

令和8年度行事予定表 前期

4月		5月		6月	
1 水	春季休業 (~4/3)	1 金		1 月	
2 木		2 土		2 火	
3 金		3 日	憲法記念日	3 水	
4 土		4 月	みどりの日	4 木	
5 日	開寮(10:00) 入寮式(10:30) 新入寮生オリエンテーション(11:00)	5 火	こどもの日	5 金	休業 高校春季総体県予選 大学院研究室訪問(専攻科1年)
6 月	入学式(9:30) 新入生オリエンテーション(学校生活)(1年, 10:30) H・R(2・3年, 11:00) 教科書販売(2・3年, 12:00) 教育後援会総会 (10:30~) 保護者懇談会(14:00~) 達成度評価シート記入(2・3年)	6 水	振替休日(予備日)	6 土	(予備日)
7 火	一斉健康診断(本科・専攻科) 専攻科オリエンテーション 課題確認テスト H・R Teams 設定(1年) 教科書販売 (4・5年, 専攻科, 13:00) 達成度評価シート記入(4・5年)	7 木	放課後: 校長訓辞・校長表彰・学生総会	7 日	
8 水	前期授業開始	8 金	放課後: 大掃除	8 月	
9 木		9 土	キャンパスウォーク	9 火	
10 金		10 日		10 水	前期中間学力確認週間(試験または授業)
11 土		11 月	いじめ防止週間	11 木	前期中間学力確認週間(試験または授業)
12 日		12 火	いじめ防止週間	12 金	前期中間学力確認週間(試験または授業)
13 月	4限目: 新入生オリエンテーション(主事・相談室長講話)	13 水	専攻科入学者選抜(推薦選抜) 専攻科休業 いじめ防止週間 TOEIC-IP(4年)	13 土	
14 火		14 木	いじめ防止週間	14 日	
15 水	短縮授業 放課後: 新入生歓迎会・クラブ紹介	15 金	いじめ防止週間	15 月	前期中間学力確認週間(試験または授業)
16 木		16 土	舞鶴高専交歓試合	16 火	前期中間学力確認週間(試験または授業)
17 金		17 日		17 水	前期中間学力確認週間(試験または授業)
18 土		18 月	前期公開授業週間	18 木	
19 日		19 火	前期公開授業週間	19 金	
20 月		20 水	短縮授業 放課後: 球技大会 前期公開授業週間, 専攻科入学者選抜(推薦選抜) 追試験	20 土	専攻科入学者選抜(学力選抜)
21 火		21 木	前期公開授業週間	21 日	
22 水		22 金	前期公開授業週間	22 月	
23 木		23 土	寮祭	23 火	
24 金	開校記念日 不合格科目の合格認定に関する計画書提出締切日	24 日	寮祭	24 水	
25 土		25 月		25 木	
26 日		26 火		26 金	
27 月		27 水		27 土	専攻科入学者選抜(学力選抜) 追試験 北陸地区高専体育大会(福井高専) ラグビー(富山)
28 火		28 木		28 日	北陸地区高専体育大会(福井高専) 水泳(石川)
29 水	昭和の日	29 金		29 月	
30 木	水曜日の授業	30 土		30 火	
31 日		31 日			
7月		8月		9月	
1 水		1 土	(予備日)	1 火	
2 木		2 日		2 水	編入学試験
3 金	北陸地区高専体育大会(福井高専) ソフトテニス(沼津)	3 月	本科・専攻科期末試験	3 木	全国高専体育大会(福井高専主管) 野球
4 土	北陸地区高専体育大会(福井高専) バレー(石川), 卓球(福井), ハンドボール(石川), ソフトテニス(沼津), 剣道(富山本郷)	4 火	本科・専攻科期末試験	4 金	全国高専体育大会(福井高専主管) 野球, 剣道
5 日	北陸地区高専体育大会(福井高専) バレー(石川), 卓球(福井), ソフトテニス(沼津), 剣道(富山本郷)	5 水	本科・専攻科期末試験 試験終了後: HR・大掃除	5 土	全国高専体育大会(福井高専主管) 野球, 剣道
6 月		6 木	試験返却日	6 日	全国高専体育大会(福井高専主管) 野球
7 火		7 金	試験返却日	7 月	全国高専体育大会(福井高専主管) 野球
8 水		8 土		8 火	
9 木	在学生保護者対象授業参観	9 日		9 水	
10 金	在学生保護者対象授業参観	10 月	試験返却日	10 木	
11 土	寮生保護者懇談会	11 火	山の日 閉寮	11 金	編入学試験追試験
12 日		12 水	夏季休業 (~9/15)	12 土	
13 月		12 木		13 日	
14 火		13 金		14 月	
15 水		13 土		15 火	開寮
16 木		14 日		16 水	学力強化期間
17 金		14 金		17 木	学力強化期間
18 土	北信越地区高専サッカー(長岡高専)	15 土		18 金	学力強化期間 キャンパスツアー準備
19 日	北信越地区高専サッカー(長岡高専)	16 日		19 土	キャンパスツアー
20 月	海の日 月曜日の授業 北信越地区高専サッカー(長岡高専)	17 月		20 日	
21 火		18 火		21 月	敬老の日
22 水		19 水		22 火	国民の休日
23 木		20 木		23 水	秋分の日
24 金		21 金		24 木	学力強化期間
25 土		22 土		25 金	休業
26 日		23 日		26 土	
27 月		24 月		27 日	
28 火		24 火		28 月	体育祭前日準備
29 水		25 火		29 火	体育祭(延期の場合は休業)
30 木	本科・専攻科期末試験	26 水		30 水	休業(体育祭予備日)
31 金	本科・専攻科期末試験	27 木			
		28 金			
		29 土			
		30 日			
		31 月			

令和8年度行事予定表 後期

10月		11月		12月	
1 木	後期授業開始	1 日		1 火	後期中間学力確認週間 (試験または授業)
2 金		2 月		2 水	後期中間学力確認週間 (試験または授業)
3 土	専攻科・大学・大学院合同説明会	3 火	文化の日 (予備日)	3 木	後期中間学力確認週間 (試験または授業)
4 日		4 水	放課後 TOEIC Bridge (1年)	4 金	後期中間学力確認週間 (試験または授業)
5 月		5 木		5 土	キャリア教育セミナー
6 火		6 金		6 日	
7 水	専攻科インターンシップ報告会 (放課後)	7 土	全国高専デザインコンペティション (函館高専) 全国高専英語プレゼンテーションコンテスト東海北陸地区大会 (福井高専、オンライン)	7 月	
8 木	月曜日の授業	8 日	全国高専デザインコンペティション (函館高専)	8 火	
9 金		9 月	読書週間	9 水	
10 土	全国高専プログラミングコンテスト (香川高専)	10 火	読書週間	10 木	後期公開授業週間
11 日	全国高専プログラミングコンテスト (香川高専)	11 水	読書週間 JOINT フォーラム	11 金	後期公開授業週間
12 月	スポーツの日	12 木	読書週間 在学生保護者対象授業参観	12 土	
13 火		13 金	読書週間 在学生保護者対象授業参観	13 日	
14 水	防災訓練	14 土		14 月	後期公開授業週間
15 木	短縮授業 放課後：クリーン大作戦	15 日	全国高専ロボットコンテスト (国技館)	15 火	後期公開授業週間
16 金	休講 高専祭 保護者懇談会	16 月		16 水	後期公開授業週間
17 土	高専祭 保護者懇談会	17 火		17 木	
18 日	高専祭 全国高専ロボットコンテスト東海北陸地区大会 (鳥羽商船高専)	18 水	専攻科社会人特別選抜	18 金	
19 月	休講 (高専祭片付け) 午後：校外実習発表会	19 木		19 土	
20 火		20 金		20 日	
21 水		21 土		21 月	
22 木	北陸技術交流テクノフェア (専攻科生校外発表)	22 日		22 火	
23 金	北陸技術交流テクノフェア (専攻科生校外発表)	23 月	勤労感謝の日 (予備日)	23 水	
24 土		24 火		24 木	授業終了後：HR・教室清掃
25 日		25 水	専攻科社会人特別選抜 (追試験)	25 金	
26 月	3年研修旅行	26 木	月曜日の授業	26 土	閉寮
27 火	3年研修旅行	27 金	後期中間学力確認週間 (試験または授業)	27 日	
28 水	文化体験日 ただし、3年研修旅行 2年校外研修	28 土		28 月	冬季休業 (~1/7)
29 木	3年研修旅行	29 日		29 火	
30 金	3年研修旅行	30 月	後期中間学力確認週間 (試験または授業)	30 水	
31 土				31 木	
1月		2月		3月	
1 金	元日	1 月		1 月	本科5年卒業研究発表 特別学習
2 土		2 火		2 火	休業 本科5年卒業研究発表 5年 HR 達成度評価シート記入
3 日		3 水		3 水	休業 閉寮
4 月		4 木		4 木	休業
5 火		5 金		5 金	休業
6 水		6 土		6 土	休業
7 木	閉寮	7 日		7 日	
8 金	授業再開 月曜日の授業 授業終了後：教室清掃	8 月	本科・専攻科期末試験	8 月	休業
9 土	入学者選抜 (推薦選抜)	9 火	本科・専攻科期末試験	9 火	休業
10 日		10 水	本科・専攻科1年期末試験 専攻科2年試験返却	10 水	休業
11 月	成人の日	11 木	建国記念の日	11 木	休業
12 火		12 金	本科・専攻科1年期末試験 専攻科2年ガイダンス 試験終了後：HR・大掃除	12 金	休業
13 水		13 土		13 土	
14 木		14 日	入学者選抜 (学力選抜)	14 日	
15 金		15 月	休業	15 月	休業
16 土	入学者選抜 (推薦選抜) 追試験	16 火	休業 入学者選抜合格判定会議	16 火	休業
17 日		17 水	本科・専攻科1年期末試験 専攻科2年休業 (~3/2)	17 水	休業
18 月		18 木	試験返却・特別学習 専攻科修了認定会議	18 木	卒業・修了式
19 火		19 金	試験返却・特別学習	19 金	学年末休業 (~3/31)
20 水	放課後：校長表彰・校長訓辞 学生総会	20 土		20 土	
21 木		21 日		21 日	春替の日
22 金	不合格科目合格認定申請締切日	22 月		22 月	振替休日
23 土	全国高専英語プレゼンテーションコンテスト (舞鶴高専)	23 火	入学者選抜 (学力選抜) 追試験	23 火	
24 日	全国高専英語プレゼンテーションコンテスト (舞鶴高専)	24 水	試験返却・特別学習	24 水	
25 月		25 木	天皇誕生日 (予備日)	25 木	
26 火		26 金	試験返却・特別学習	26 金	
27 水	放課後 専攻科特別研究Ⅱ発表会	27 土	試験返却・特別学習	27 土	
28 木	短縮授業 放課後 専攻科特別研究Ⅰ発表会	28 日	試験返却・特別学習	28 日	
29 金		29 月		29 月	
30 土		30 火		30 火	
31 日		31 水		31 水	

令和7年度

卒業・修了式



編集後記

新入生のみなさんには御入学おめでとうございます。ご家族の皆様にも心からお喜び申し上げます。これから一緒にがんばりましょう。春の陽気に誘われて、是非何か新しいことを始めてみて下さい。一生の思い出、生涯続く何かになると思います。

この青武台だよりは皆さんの日常、頑張りを広くお知らせし、応援するものです。教員や職員がいろいろ工夫し、また学生さん自身も執筆されますので、どうぞ皆さんの日々を書き連ねてください。 (野元)

青武台だより

独立行政法人国立高等専門学校機構 福井工業高等専門学校
発行日：令和8年4月2日



福井工業高等専門学校
〒916-8507 福井県鯖江市下司町
TEL：0778-62-1111